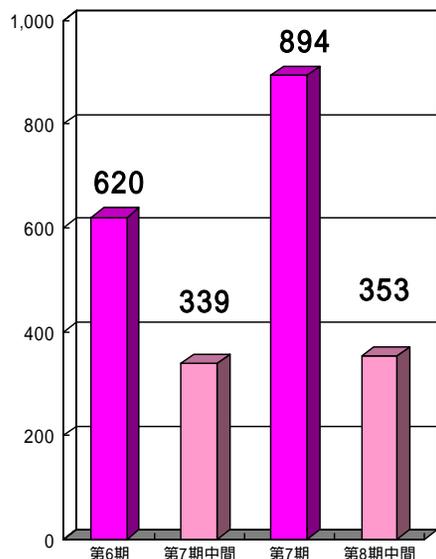


# 2006年3月期中間期の業績

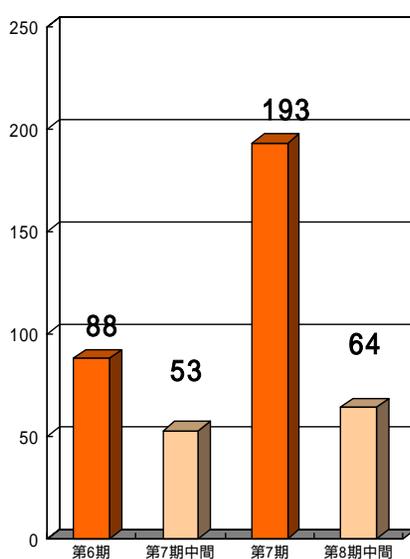
## 売上高および損益の推移（単独）

- 売上高は前年同期比8.3%増。前年から続く売上の下半期偏重傾向に、拍車がかかる展開。
- M&A、第三者割当増資、業務提携に関わる資本提携などで、販管費が一時的に増加。

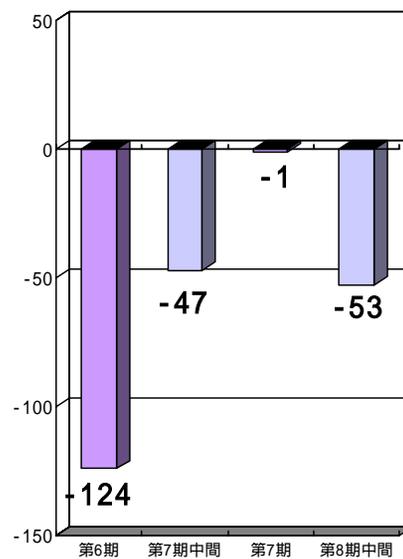
売上



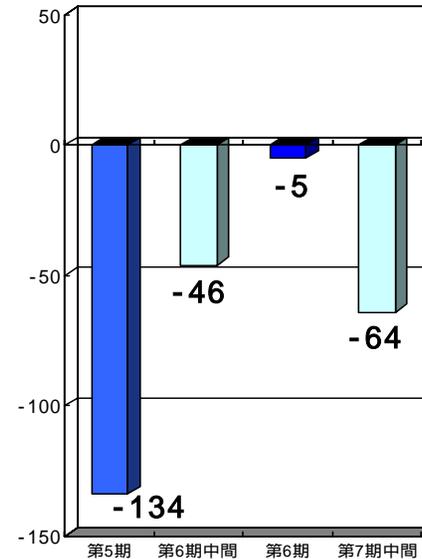
売上高総利



営業利



経常利



(単位:百万円)

## 業績・収益性の分析 (単独)

- 売上高は当初予算(350百万円)達成し、**前期比104.1%**。
- 売上高総利益(粗利)は**前期比120.8%を達成**。売上高総利益率も**15.7% 18.2%へと改善**。
- M&A、第三者割当増資、業務提携に関わる資本提携などで、販管費が一時的に増加。

中間期業績比較	第7期中間期 (2004年9月)	第8期中間期 (2005年9月)	前年同期比	
			金額	百分率
売上高	339	353	14	4.1%
売上高総利益	53	64	11	20.8%
売上高総利益率	15.7%	18.2%	-	-
販売管理費	101	118	17	16.8%
販売管理費比率	29.8%	33.4%	-	-
営業利益	47	53	6	12.8%
営業利益率	-14.1%	-15.2%	-	-
経常利益	46	64	18	39.1%
経常利益率	-13.6%	-18.1%	-	-
当期(中間)純利益	49	74	25	51.0%
当期純利益率	-14.5%	-21.2%	-	-

(単位: 百万円)

・モニタリング倶楽部の**売上増**が売上・利益に貢献。

・前中間期に比べ、**売上高総利益率が改善**。これは、モニタリング倶楽部の利益率向上と開発の効率化による効果。

・M&A、第三者割当増資、業務提携に伴う資本提携などが、一時的要因として発生。

・営業外で新株発行・社債発行の償却費、持分法投資損失が発生。

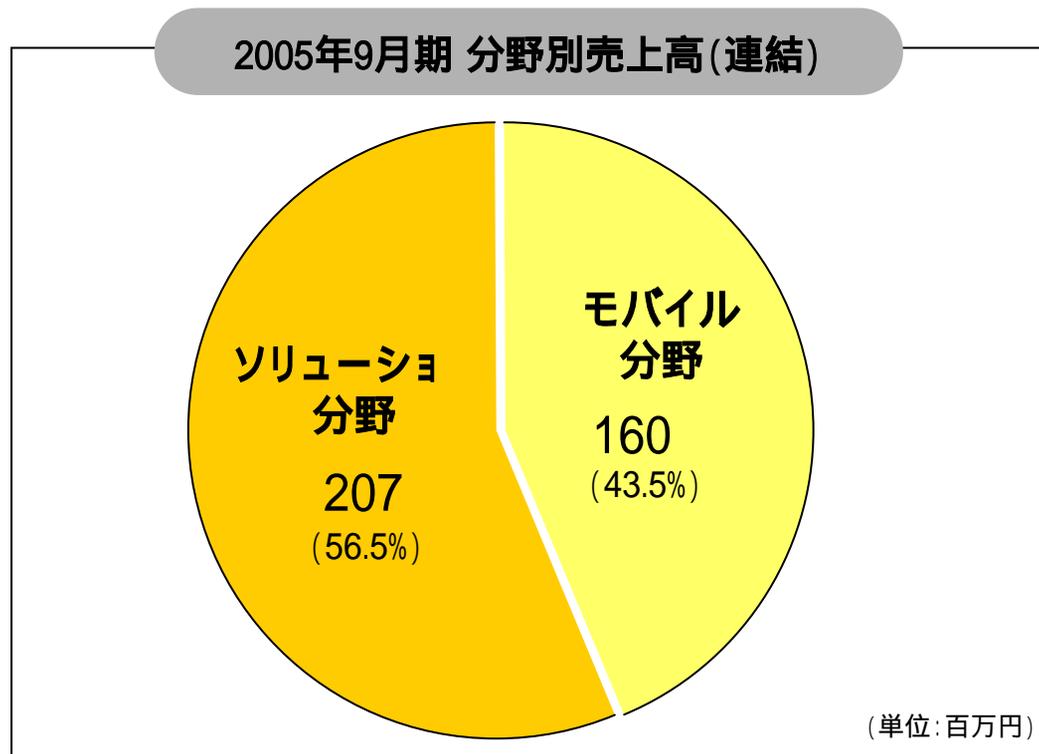
## 連結の業績・収益性の分析

中間期業績	第8期中間期 (2005年9月)
売上高	367
売上高総利益	68
売上高総利益率	18.5%
販売管理費	132
販売管理費比率	36.0%
営業損益	-64
営業損益率	-17.5%
経常損益	-76
経常損益率	-22.0%
当期(中間)純損益	-86
当期純損益率	-25.0%

(単位:百万円)

## 分野別の売上構成（連結）

- モニタリング倶楽部の売上増加により、ソリューション分野が56.5%を占める。
- モバイル分野は、JRトラベルナビゲータ、無線LAN事業が着実な売上を上げる。



## バランスシートの状況

- 増資による資金調達により資産合計2,606百万円。うち投資有価証券が1,036百万円で、これは、業務提携に関わる資本提携などによるもの。
- 借入金はなく、無借金経営を継続。自己資本比率91.5%。

	第7期中間期 (2004年9月・単体)	第7期 (2005年3月・単体)	第8期中間期 (2005年9月・連結)
資産合計	1,220	1,373	2,606
うち現金・預金	768	721	1,198
流動比率(%)	79.2%	81.7%	53.2%
固定資産	239	241	1,214
負債合計	214	282	214
うち流動負債	210	277	221
資本合計	1,005	1,090	2,385
自己資本比率(%)	82.4%	79.4%	91.5%

2005年9月末バランスシート

